

人気国立大は安定だが 入学辞退者は増加に転じる

編集部が入手できた過去2年間の国立大の入試結果データから、追加合格者数・入学辞退率・入学辞退学部について分析した。2015年度入試からセンター試験の数学と理科が新課程対応の入試に変わり、受験生にとっては理科の負担が大きかったようだ。有名国立大をあきらめ、地方国立大を第2志望にしたのだろうか、昨年より入学辞退者の増加となった。

2015年度入試の特徴は、センター試験の数学と理科が新課程対応の出題に変わったことである。多くの受験生にとって理科の負担がかなり大きかったようだ。

また、有効求人倍率で、就職に少し明るさが見え、都市圏を目指す地方受験生が昨年より増加したと考えられる。入学辞退者数は昨年より408名の増加となった。

以下、編集部で入手した国立大学81校の一般入試結果2年間のデータ(2015・2014年度)をもとに、具体的に国立

大の人気と実態を分析してみた。

昨年より約6割の大学で入学辞退率が増加

表①は、国立大の追加合格者数と入学辞退率・入学辞退者の学部注目したものである。国立大の今年度の入学辞退者数は、81大学で合計8278名、昨年度の微減から増加に転じた。

国立大の入試結果データは、各大学で項目の形式が異なっている。追加合格者数を合格者数に含む大学や入学者数に一般入試と推薦入試の合計数を公表する大学、項目によっては数値

を記載せず、非公表の大学も例年多い。このデータ一覧での最終合格者数は、当初合格者数に追加合格者数を加えたものであり、入学辞退者数は最終合格者数から入学者数を引いたものである。

まず、入学辞退率だが、入学辞退率が10%以上となったのは昨年と同様全体の約4割であった。ただし、昨年より入学辞退率が増加した大学は6割近かった。大幅な減少は避けられたものの昨年より、少し辞退率が高くなった大学が多かった。少し景気がよくなってきたと思える

と受験生が首都圏の私大に流れ、辞退者が増えるのだろう。ここ数年、就職の可能性が高く安定した人気を保っている教育系の単科大学をみてみよう。前年度より辞退率の減少となったのは北海道教育大(6.3%↓3.7%)、大阪教育大(7.7%↓7.3%)、兵庫教育大(8.3%↓5.8%)、鳴門教育大(6.9%↓5.9%)、福岡教育大(6.7%↓5.1%)であり、隔年減少はあるものの来年度も人気は続きそうだ。

また、北陸新幹線開通ということで富山大(14.4%↓13.7%)と金沢大(6.3%↓4.7%)の辞退率も減少したが、さらに来年度は受験生が集まりそう。

7年間辞退率1%以下の東大・東京藝大・一橋大・京大

さて、今年度も受験生の人気を集め、辞退率が5%以下となったのは北海道大・北海道教育大・旭川医科大・東北大・宮城教育大・東京大・東京藝術大・東京工業大・一橋大・金沢大・名古

①国立大学別「追加合格者数・入学辞退率」一覧(一般入試)

大学名	募集人員(2015年度)	2014年度				2015年度				入学辞退者学部内訳		
		最終合格者数	追加合格者数	入学辞退者数	入学辞退率	最終合格者数	追加合格者数	入学辞退者数	入学辞退率	前期(学部・人数)	後期(学部・人数)	
北海道大*	2,430	2,619	-	125	4.8%	2,643	8.8%	-	124	4.7%	総合文系10, 総合理系28, 文9, 法6, 経済10, 医(保健学系)2, 歯2, 水産1	文5, 教育1, 法9, 経済2, 理9, 医(保健学系)2, 薬4, 工15, 農5, 水産4
北海道教育大	921	1,017	12	64	6.3%	995	8.0%	-	37	3.7%	教育37(札幌校4, 函館校16, 旭川校6, 釧路校8, 岩見沢校3)	
室蘭工業大	424	481	0	80	16.6%	471	11.1%	-	85	18.0%	工29	工56
小樽商科大	370	412	-	31	7.5%	431	16.5%	-	28	6.5%	商10	商18
帯広畜産大	186	207	0	24	11.6%	212	14.0%	4	29	13.7%	畜産(畜産)7	畜産(共同獣医)5, 畜産(畜産)17
旭川医科大	112	120	8	8	6.7%	115	2.7%	3	3	2.6%	医(医)1, 医(看護)2	-
北見工業大	307	590	0	257	43.6%	564	83.7%	3	250	44.3%	工173	工77
弘前大	1,129	1,211	-	65	5.4%	1,212	7.4%	-	72	5.9%	人文11, 医(保健)10, 理工13, 農学生命科学7	人文12, 理工16, 農学生命科学3
岩手大	846	958	0	65	6.8%	956	13.0%	0	82	8.6%	人文社会7, 教育15, 工13, 農10	人文社会13, 教育8, 工13, 農3
東北大	1,958	2,132	-	83	3.9%	2,124	8.5%	-	95	4.5%	文12, 教育1, 法4, 経済15, 理3, 医(医)1, 医(保健)10, 歯4, 薬1, 工19	経済11, 理14
宮城教育大	300	318	-	11	3.5%	324	8.0%	-	12	3.7%	教育7	教育5
秋田大	739	850	-	84	9.9%	842	13.9%	-	87	10.3%	国際資源8, 教育文化8, 医(医)1, 医(保健)5, 理工34	国際資源3, 教育文化1, 医(医)1, 医(保健)3, 理工23
山形大	1,289	1,505	5	155	10.3%	1,517	17.7%	14	173	11.4%	人文12, 地域教育文化7, 理12, 医(医)4, 医(看護)5, 工44, 農7	人文10, 地域教育文化4, 理9, 医(医)3, 工35, 農21
福島大	670	799	0	82	10.3%	813	21.3%	0	105	12.9%	人文社会学群35, 理工学群17	人文社会学群33, 理工学群20
茨城大	1,327	1,628	-	276	17.0%	1,768	33.2%	-	349	19.7%	人文84, 教育19, 理26, 工61, 農13	人文59, 教育9, 理15, 工38, 農25
筑波大	1,495	1,704	17	117	6.9%	1,713	14.6%	22	133	7.8%	人文・文化14, 社会・国際24, 人間8, 生命環境1, 理工22, 情報6, 医(医)1, 医(看護)4, 体育4, 芸術4	人文・文化9, 生命環境9, 理工17, 情報7, 医(医療科)1, 芸術2
宇都宮大	700	873	1	122	14.0%	869	24.1%	6	129	14.8%	国際8, 教育10, 工33, 農17	教育20, 工22, 農19
群馬大	772	881	9	82	9.3%	890	15.3%	6	108	12.1%	教育16, 社会情報12, 医(医)3, 医(保健)15, 理工62	
埼玉大	1,440	1,952	11	428	21.9%	1,852	28.6%	20	371	20.0%	教養51, 教育41, 経済186, 理36, 工57	

屋大・愛知教育大・豊橋技術科学大・滋賀医科大・京都市大・大阪大・神戸大・奈良教育大・九州大の19大学である。特に東京大・東京藝術大・一橋大・京都市大の4大学は、ここ7年間の入学辞退率が1%以下である。合格した受験生のほとんどが第1志望校なのだろう。同じく、2015年度の募集人員に対し、最終合格者をどの位多く出したかという合格者割増率に注目してみると、割増率が20%以上になった大学は19大学(昨年18大学)となった。一方、合格者割増率が10%以下となったのは、北海道大・北海道教育大・旭川医科大・弘前大・東北大・宮城教育大・東京大・東京藝術大・東京工業大・一橋大・金沢大・浜松医科大・名古屋大・滋賀医科大・京都大・京都教育大・大阪大・九州大の18(昨年15)大学である。これらの大学は募集人員に近い最終合格者数を出しているため、合格した受験生のほとんどが入学すると見込んでいるのだろう。この2つの項目(入学者辞退

●特集 国立大追加合格・入学辞退率一覧

大学名	募集人員 (2015年度)	2014年度					2015年度					入学辞退者学部内訳	
		最終合格者数	追加合格者数	入学辞退者数	入学辞退率	最終合格者数	合格者割増率	追加合格者数	入学辞退者数	入学辞退率			
		前期(学部・人数)	後期(学部・人数)										
浜松医科大	120	128	8	9	7.0%	129	7.5%	7	9	7.0%	医(医)4, 医(看護)1	医(医)4	
名古屋大	1,733	1,845	1	44	2.4%	1,862	7.4%	-	58	3.1%	教育1, 法9, 経済10, 情報文化4, 理2, 医(保健)12, 工17, 農2	医(医)1	
愛知教育大	782	868	0	37	4.3%	869	11.1%	0	38	4.4%	教育12	教育26	
名古屋工業大	812	896	4	76	8.5%	906	11.6%	0	63	7.0%	工9	工54	
豊橋技術科学大	40	51	-	2	3.9%	49	22.5%	-	2	4.1%	工2		
三重大	1,088	1,292	3	114	8.8%	1,304	19.9%	10	112	8.6%	人文14, 教育14, 医(医)1, 工8, 生物資源9	人文13, 教育3, 医(看護)4, 工28, 生物資源18	
滋賀大	608	763	-	133	17.4%	776	27.6%	-	147	18.9%	教育9, 経済43	教育10, 経済85	
滋賀医科大	125	125	-	1	0.8%	127	1.6%	*	2	1.6%	医(医)2		
京都大	2,846	2,935	0	10	0.3%	2,907	2.1%	0	10	0.3%	法1, 理1, 医(人間健康)6, 薬1, 工1		
京都教育大	210	238	-	10	4.2%	231	10.0%	-	21	9.1%	教育12	教育9	
京都工芸繊維大	525	625	24	94	15.0%	619	17.9%	6	83	13.4%	工芸科学5	工芸科学78	
大阪大	3,180	3,396	2	73	2.1%	3,393	6.7%	*	92	2.7%	文7, 人間科学2, 外国語29, 法10, 経済16, 理1, 医(保健)9, 歯3, 工10, 基礎工5		
大阪教育大	848	939	-	72	7.7%	954	12.5%	-	70	7.3%	教育27	教育43	
兵庫教育大	102	121	0	10	8.3%	121	18.6%	0	7	5.8%	学校教育4	学校教育3	
神戸大	2,317	2,554	11	125	4.9%	2,565	10.7%	7	123	4.8%	文1, 発達科学2, 法4, 経済7, 経営7, 医(保健)3, 工2, 農1, 海事科学9	文4, 国際文化3, 発達科学1, 法8, 理5, 医(保健)13, 工26, 農2, 海事科学25	
奈良教育大	213	242	-	7	2.9%	245	15.0%	-	10	4.1%	教育7	教育3	
奈良女大	422	480	1	48	10.0%	477	13.0%	0	36	7.5%	文4, 理4, 生活環境8	文5, 理9, 生活環境6	
和歌山大	780	946	0	145	15.3%	933	19.6%	*	151	16.2%	教育8, 経済44, システム工16, 観光4	教育10, 経済21, システム工40, 観光8	
鳥取大	936	1,147	6	142	12.4%	1,168	24.8%	5	174	14.9%	地域22, 医(生命科学)8, 医(保健)9, 工99, 農36		
鳥根大	872	1,021	3	116	11.4%	1,031	18.2%	7	121	11.7%	法文41, 教育6, 医(看護)3, 総合理工38, 生物資源科学33		
岡山大	1,715	1,893	5	92	4.9%	1,905	11.1%	7	102	5.4%	文4, 教育4, 法9, 経済9, 理4, 医(医)2, 医(保健)2, 歯1, 工4, 環境理工3, 農1	文2, 法10, 経済5, 理5, 医(保健)4, 歯3, 薬2, 工20, 環境理工5, 農3	
広島大	1,957	2,254	5	118	5.2%	2,261	15.5%	-	137	6.1%	総合科学3, 文5, 教育5, 法11, 経済11, 理6, 医(保健)5, 歯4, 薬2, 工8, 生物生産1	総合科学10, 文3, 教育8, 法7, 経済7, 理15, 医(医)2, 歯5, 工16, 生物生産3	
山口大	1,518	1,777	3	222	12.5%	1,834	20.8%	7	239	13.0%	人文20, 教育17, 経済16, 理8, 医(医)1, 医(保健)9, 工55, 農12, 共同獣医1, 国際総合10	人文10, 経済12, 理16, 医(保健)10, 工35, 農6, 国際総合1	

大学名	募集人員 (2015年度)	2014年度					2015年度					入学辞退者学部内訳	
		最終合格者数	追加合格者数	入学辞退者数	入学辞退率	最終合格者数	合格者割増率	追加合格者数	入学辞退者数	入学辞退率			
		前期(学部・人数)	後期(学部・人数)										
千葉大	2,089	2,411	7	208	8.6%	2,398	14.8%	14	220	9.2%	文8, 教育16, 法経45, 理12, 医(医)8, 薬3, 看護2, 工22, 園芸8	文7, 法経28, 理14, 医(医)4, 薬2, 工37, 園芸4	
東京大	3,063	3,109	-	10	0.3%	3,108	1.5%	-	13	0.4%	理I4, 理II9	-	
東京医科歯科大	247	281	*	31	11.0%	278	12.6%	*	31	11.2%	医(医)11, 医(保健衛生)7, 歯11	医(医)1, 歯1	
東京外国語大	703	855	*	118	13.8%	866	23.2%	*	120	13.9%	言語文化40, 国際社会45	国際社会35	
東京学芸大	884	1,061	3	53	5.0%	1,019	15.3%	2	58	5.7%	教育43	教育15	
東京農工大	735	816	*	73	8.9%	829	12.8%	*	75	9.0%	農9, 工20	農13, 工33	
東京藝術大	477	490	-	3	0.6%	494	3.6%	-	0	0.0%	-	-	
東京工業大	923	986	-	21	2.1%	965	4.6%	-	23	2.4%	理2, 工6, 生命理工10	生命理工5	
東京海洋大	376	424	-	27	6.4%	430	14.4%	-	27	6.3%	海洋科学8, 海洋工8	海洋科学7, 海洋工4	
お茶の水女大	381	418	-	38	9.1%	431	13.1%	-	29	6.7%	文教育10, 理6, 生活科学6	文教育3, 理3, 生活科学1	
電気通信大	621	699	0	51	7.3%	703	13.2%	0	44	6.3%	情報理工14	情報理工30	
一橋大	920	956	-	5	0.5%	959	4.2%	-	4	0.4%	法1	経済3	
横浜国立大	1,467	1,788	10	294	16.4%	1,819	24.0%	10	315	17.3%	教育人間科学29, 経済21, 経営47, 理工54	教育人間科学10, 経済32, 経営20, 理工102	
新潟大	1,755	2,004	7	158	7.9%	2,017	14.9%	-	188	9.3%	人文7, 教育11, 法9, 経済17, 理13, 医(医)2, 医(保健)3, 歯6, 工16, 農7	人文12, 教育45, 法7, 経済7, 理7, 医(保健)7, 工7, 農5	
長岡技術科学大	50	66	-	1	1.5%	65	30.0%	-	4	6.2%	工4		
上越教育大	110	132	0	14	10.6%	134	21.8%	0	17	12.7%	学校教育9	学校教育8	
富山大	1,378	1,643	20	236	14.4%	1,668	21.0%	8	228	13.7%	人文19, 人間発達科9, 経済27, 理11, 医(看護)2, 薬4, 工27, 芸術文化11	人文11, 人間発達科11, 経済21, 理15, 医(看護)2, 薬8, 工43, 芸術文化7	
金沢大	1,549	1,698	6	107	6.3%	1,687	8.9%	4	80	4.7%	人間社会36, 理工31, 医薬保健(保健)13		
福井大	698	808	4	65	8.0%	794	13.8%	-	60	7.6%	教育地域科学4, 医(看護)1, 工17	教育地域科学6, 医(看護)1, 工31	
山梨大	649	746	9	79	10.6%	782	20.5%	16	86	11.0%	教育人間科学5, 医(看護)3, 工30, 生命環境16	教育人間科学3, 医(医)13, 医(看護)3, 工11, 生命環境2	
信州大	1,611	1,902	20	259	13.6%	1,935	20.1%	21	295	11.4%	人文36, 教育23, 経済79, 理41, 医(医)4, 医(保健)23, 工38, 農12, 繊維39		
岐阜大	1,068	1,245	5	93	7.5%	1,237	15.8%	-	101	8.2%	教育11, 地域科学8, 医(看護)1, 工6, 応用生物科学5	教育12, 地域科学4, 医(看護)1, 工44, 応用生物科学9	
静岡大	1,557	1,855	*	234	12.6%	1,834	17.8%	*	225	12.3%	人文45, 教育16, 情報18, 理4, 工11, 農6	人文19, 教育7, 情報19, 理30, 工40, 農10	

だ。茨城大・埼玉大・横浜国立大・佐賀大を、①合格者割増率②入学辞退者数③入学辞退率の順にみると、茨城大33.2%・34.9%・19.7%（昨年27.8%・27.6%・17.0%）、埼玉大28.6%・37.1%・20.0%（昨年31.6%・42.8%・21.9%）、横浜国立大24.0%・31.5%・17.3%（昨年21.9%・29.4%・16.4%）、佐賀大25.8%・22.5%・17.0%（昨年21.5%・17.8%・13.7%）である。

埼玉大は、この中では昨年より状況が改善されている。今年のノーベル物理学賞の梶田隆章教授は埼玉大理学部の卒業なので、来年度は入学希望者が増加するのではないだろうか。

同様に、山梨大もノーベル医学・生理学章受賞の大村智特別栄誉教授の母校ということで注目を集めそうだ。

さて、2つの項目にあてはまるのが、富山大・信州大・滋賀大・宮崎大である。地方の国立大は競合となる私大も少なく危機意識も低い。具体的にどう取組めばいいのかわからないのだろう。

率と合格者割増率)において、入学辞退率5%以下、合格者割増率10%以下に該当の大学は、北海道大・北海道教育大・旭川医科大・東北大・宮城教育大・東京大・東京藝術大・東京工業大・一橋大・金沢大・名古屋大・滋賀医科大・京都大・大阪大・九州大の15大学である。入試結果データから人気の高い大学と言えよう。

今年度は、東京藝術大は辞退者がゼロで、続いて豊橋技術科学大と滋賀医科大が2名、旭川医科大3名、一橋大と長岡技術科学大が4名と続いている。

難関私大と競合で今年も茨城・埼玉・横国大は苦戦

次に、合格者の割増率が20%以上、入学辞退者数200名以上、入学辞退率15%以上という3項目基準で、2つ以上の項目に当てはまる大学は9大学だった。3項目が該当するのは、北見工業大・茨城大・埼玉大・横浜国立大・佐賀大の5大学である。北見工業大は合格者割増率83.7%、辞退者数250名、辞退率44.3%と今年も高い数値

②追加合格を実施したおもな国立大、学部内訳（2015年度）

大学名	追加合格者数	前期 (学部,人数)	後期 (学部,人数)
		前期 (学部・人数)	後期 (学部・人数)
帯広畜産大	4	0	畜産(共同獣医)4
旭川医科大	3	医(医)1,医(看護)2	0
北見工業大	3	0	工3
山形大	14	理1,医(医)6,医(看護)3,工1,	理1,農2
筑波大	22	社会・国際2,人間5,医(医)1,医(看護)2,体育1	人文・文化1,生命環境7,理工2,医(医療科学)1
宇都宮大	6	農5	農1
群馬大	6	教育3,医(医)3	
埼玉大	20	教育3,理8,工9	
千葉大	14	理2,医(医)2,工1	文1,理2,医(医)3,工3
東京学芸大	2	教育1	教育1
横浜国立大	10	0	経済10
富山大	8	工4	工4
金沢大	4	医薬保健(保健)4	
山梨大	16	0	医(医)13,医(看護)3
信州大	21	経済3,理9,医(医)4,	医(保健)2,繊維3
浜松医科大	7	医(看護)1	医(医)6
三重大	10	教育6	医(看護)2,工2
京都工芸繊維大	6	0	工芸科6
神戸大	7	0	理1,医(保健)3,工3
鳥取大	5	医(生命科学)2,農3	
島根大	7	法文2,総合理工3,生物資源科学2	
岡山大	7	医(医)2,歯1	理1,歯3
山口大	7	教育1,医(保健)2	理1,医(保健)2,工1
香川大	2	0	医(医)2
愛媛大	39	教育3,理5,医(医)1,医(看護)1,工1	法文12,教育3,理5,医(医)2,工6
高知大	4	医(医)1,農1	理2
長崎大	26	教育4,経済4,医(医)1	教育2,経済2,医(保健)6,歯1,薬2,工4
鹿児島大	16	教育2,医(医)1,医(保健)4,歯2,農1,水産1	教育1,歯2,工2

学への「入学人数」をみると、入学残留率1位が愛知県、2位北海道、3位東京都、4位福岡県、5位宮城県と例年同じような結果となっている。

ちなみに、他県の大学へ入学した者の流出先1位が東京なのは、神奈川県が50・1%で、以下埼玉県49・9%、千葉県45・3%、茨城県34・0%、山梨県32・0%、栃木県28・3%と続く。いずれの県からも東京へ大量の受験生が流出している。このことは、私大難関校と茨城・埼玉・横浜国立の併願者が多いことを裏付けている。

追加合格は医、教育、理工学部が多い

大学側では合格者数を決めるときに最初から入学辞退率を見込んで入学者を出している。入学辞退者が予想より多いと追加合格者を出し、さらに2次募集も実施する。

表②は追加合格者を出した大学の学部の内訳を前期と後期で示したもので、人数を公表した28大学である。東京医科歯科大・東京外国語大・東京農工大・静岡大・志賀医科大・大阪大・和歌山大・徳島大でも追加合格者はい

るが人数は非公表である。また、追加合格を含まない形式でのみ公表する大学もある。

2015年度で追加合格者が20名以上となったのは、以下の通り。愛媛大39名、長崎大26名、筑波大22名、信州大21名、埼玉大20名である。

例年、追加合格が一番多い学部は医学部で、教育系統、理工学部系統がそれに続いている。医学部の場合は、医学科とその他の看護・保健学科とに分けて表示した。

医学科では、入学辞退者が出た場合、例年追加合格者を出し、募集人員と入学者を同じ数に調

大学名	募集人員 (2015年度)	2014年度				2015年度						
		最終合格者数	追加合格者数	入学辞退者数	入学辞退率	最終合格者数	合格率割増率	追加合格者数	入学辞退者数	入学辞退率	入学辞退者学部内訳	
											前期 (学部・人数)	後期 (学部・人数)
徳島大	882	1,046	7	133	12.7%	1,055	19.6%	*	131	12.4%	総合科学29,医(医)1,医(医科栄養)2,医(保健)3,歯3,工26	総合科学15,医(医科栄養)1,医(保健)3,歯2,薬12,工34
鳴門教育大	83	102	0	7	6.9%	101	21.7%	-	6	5.9%	教育3	教育3
香川大	912	1,010	5	120	11.9%	1,010	10.7%	2	106	10.5%	教育6,法17,経済14,医(看護)5,工14,農9	教育6,法8,経済11,医(医)2,工11,農3
愛媛大	1,273	1,500	31	161	10.7%	1,515	19.0%	39	159	10.5%	法文30,教育7,理10,医(医)1,医(看護)3,工21,農6	法文34,教育4,理11,医(医)2,工28,農2
高知大	701	1,048	5	134	12.8%	840	19.8%	4	105	12.5%	人文31,教育3,理19,医(医)1,医(看護)1,農11,地域協働1	人文4,教育1,理26,農7
福岡教育大	559	640	2	43	6.7%	625	11.8%	0	32	5.1%	教育15	教育17
九州大	2,360	2,567	-	121	4.7%	2,575	9.1%	-	122	4.7%	文3,法6,経済8,理3,医(医)1,医(保健)6,薬2,工12,芸術工1,農2	文5,法15,経済14,理5,歯3,工35,農1
九州工業大	754	867	2	90	10.4%	879	16.6%	-	124	14.1%	工11,情報工13	工58,情報工42
佐賀大	1,053	1,300	-	178	13.7%	1,325	25.8%	-	225	17.0%	文化教育14,経済54,医1,理工26,農10	文化教育10,経済37,理3,理工60,農10
長崎大*	1,245	1,433	24	125	8.7%	1,441	15.7%	35	159	11.0%	多文化社会14,教育8,経済21,医(医)1,医(保健)5,薬2,工16,環境科学13,水産5	多文化社会3,教育3,経済20,医(保健)8,歯1,薬9,工23,環境科学3,水産4
熊本大	1,460	1,638	3	103	6.3%	1,635	12.0%	0	115	7.0%	文6,教育11,法14,理9,医(保健)6,薬2,工11	文6,教育2,法3,理31,医(医)1,医(保健)5,工8
大分大	823	956	-	105	11.0%	975	18.5%	-	121	12.4%	教育福祉科学14,経済21,医(医)3,医(看護)5,工23	教育福祉科学9,経済23,医(看護)6,工17
宮崎大	819	991	-	132	13.3%	1,003	22.5%	-	160	16.0%	教育文化20,医(医)2,医(看護)3,工33,農20	教育文化9,医(医)3,医(看護)1,工36,農33
鹿児島大	1,661	1,875	20	162	8.6%	1,913	15.2%	16	192	10.0%	法文21,教育15,理15,医(医)1,医(保健)13,歯3,工19,農18,水産10	法文14,教育11,理9,医(医)4,歯2,工15,農8,水産14
鹿屋体育大	85	98	0	10	10.2%	99	16.5%	0	5	5.1%	体育5	
琉球大	1,250	1,506	-	209	13.9%	1,495	19.6%	-	194	13.0%	法文13,観光産業科学5,教育6,理20,医(医)1,医(保健)10,工28,農2	法文11,観光産業科学16,教育2,理25,医(医)1,医(保健)7,工38,農9

*夜間主コース・Bコース・フレックスコース(昼間部がある場合)を除く。
 *入学辞退者数は、最終合格者数から入学者数を引いたもの。
 *追加合格者数の「-」は、大学資料のままか、または記載の無いもの。
 追加合格者数欄の「」は、最終合格者数に追加合格者数を含むが数値は非公表。
 *北海道大の最終合格者数は当初合格者数。
 *北海道教育大の辞退者数は全受験方式の合計。
 *長崎大学の追加合格者数と辞退者数には2次募集(多文化社会学部)の9名と1名を含む。

工学部と社会学部系統で入学辞退者の4割を占める

では、具体的にどの学部での入学辞退者が多いのだろうか。今年度は、81大学で合計8278(昨年度7870)名の辞退者がいる。工学部がその全体の25・9%を占め、続いて社会学部系統が16・6%、人文学部系統14・0%、教育学部11・4%の順で例年ほぼ変わらない。工学部の入学辞退者が特に多いが、募集人員の数も文系の2〜3倍と多いので、辞退者数も比例して多くなると思われる。

私立大では首都圏以外の受験生対象の奨学金で、地方出身者を獲得しようという動きがある。主なものは、中央大「予約奨学金」、法政大「チャレンジ奨学金」、立教大「自由の学府奨学金」、早稲田大「めざせ!都の西北奨学金」である。受験生にとっては有難い奨学金だが、地方の国立大にとっては厳しい競争相手といえよう。

文部科学省データで、国立大と私立大を合わせた「自県内大」を整えていることが多い。国からの予算も多く、定員を下回ることは予算を適正に執行していないことになるので、大学は定員にできる限り近づこうように追加合格を出しているようだ。また、医学科なら地方大学でも入学する優秀な受験生も多い。

受験の際は追加合格や入学辞退率も考慮しよう

追加合格者数と入学辞退者数から国立大の分析を試みてきたが、例年国立大で8千人前後の辞退者が出ている。現役合格を望むなら、入学辞退者数が多い大学や募集人員より合格者数を多く出す大学を検討してみよう。そして、悔いのない大学生活を送るために、オープンキャンパスや大学説明会には必ず行こう。

2016年度センター試験は数学と理科に続き、英語、国語、地歴・公民も新課程に移行する。入試方式の多様化もさらに進み、来年度からは、東大が推薦入試を京都大が特色入試を導入する。その動向にも注目しよう。

(文・データ構成/田中和子)